

<企業CM 最新作オンエア開始>

“ホアンの夢は、私の夢” 多様な人材が集まり 未来の地球を支えるイノベーションに向け奮闘する様を表現

TV-CM『For Your Wishes.』篇 2020年12月20日(日)からオンエア開始

株式会社クボタ(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長 北尾 裕一)は、企業TV-CMの最新作『For Your Wishes』篇(60秒)を、2020年12月20日(日)から全国でオンエア開始いたします。

当CMは、当社が手掛けるスマートMBR下水処理システム「スクラム(SCRUM)」の導入が決定し、2021年稼働開始予定の大阪市中浜下水処理場、および同技術の開発現場を舞台に、社員が日々奮闘する姿を表現しています。

CMストーリーは、ベトナム出身の若手社員「ホアン」を主役に進行。彼女が水環境の技術開発を目指すゆえんとなったある夢を、同期社員「高瀬」と共に語り、ともに夢を分かち合う姿を通じて、異なる価値観・考え方を認め、多様な視点を創造性に変え、ともに未来の地球を支えるために奮闘する様を表現しております。

クボタは1893年に、国内初の水道用鑄鉄管の製造を開始、以来上水道から下水道までをカバーする様々な技術開発・普及に努め、現在では世界約70カ国以上の水インフラの整備に貢献しています。人種や国籍、性別を超え、様々なバックグラウンドをもつ人々が集まり、多様な知見・経験を最大限発揮できる環境づくりを通じて、お客様から最も信頼され、社会に最も貢献する企業ブランドを目指し、今後も取り組みを続けてまいります。



■クボタにおける「グローバル人材」の育成・登用について

当社におけるグローバルビジネスは急速に拡大を続けており、2000年時点で18.7%だった海外売上高比率は、2019年で67.4%に伸長。世界120カ国以上で事業を展開し、連結従業員数は40,000人を超えました。

そうした「日本から海外へ」という動きを強化する一方で、今回の新CMの劇中にもあるような「海外から日本へ」、優秀な人材を迎え入れる重要性は高まっており、2020年12月現在、日本国内のクボタの拠点では、世界13カ国・100名近い外国人社員が、研究開発から営業、人事まで、幅広い分野で活躍しています。

■クボタが目指す「ダイバーシティ・マネジメント」

異なる価値観・考え方を認め、多様な視点を持つことは組織の持続的成長にとって不可欠です。一人ひとりの違いを受け容れ、その多様性が新たな創造力となって新しい価値を生み出すと私たちは考えています。

クボタグループはトップコミットメントとして「ダイバーシティ&インクルージョン」を推進し、持続的な発展を実現することで、お客様から最も信頼され、社会に最も貢献する企業ブランドを目指し、今後も取り組みを続けてまいります。

☆クボタの「ダイバーシティ・マネジメントの推進」に関する紹介

<https://www.kubota.co.jp/sustainability/csr/office/diversity/index.html>

■クボタの「水処理事業」について

経済成長にともない、水環境の汚染が社会課題として高まった1950年代から、水処理技術の研究開発を進め、1962年、「水処理事業部」を創設、環境整備事業へ本格参入しました。以来、クボタは長年にわたり、公共下水や事業場排水の処理に貢献しています。

また、公共下水が及ばない場所で活躍する日本独自で開発された浄化槽や、下水を高度かつ安定的に処理して「中水」として再利用できる、クボタ独自の「液中膜」技術を用いたシステムまで、多彩なニーズに合わせた幅広い水処理ソリューションを提供。衛生的な生活や公衆衛生、水環境改善に寄与しています。

今回CMの舞台となった「中浜下水処理場」は1960年(昭和35年)、大阪市で3番目の下水処理場として開場した、敷地面積84,061平方メートル(甲子園球場約2.2個分)を誇る大型下水処理施設です。通水後50年以上が経過したことにより、施設の老朽化が進んでいました。また雨水と汚水を一本の管で集める「合流式下水道」であるため、降雨時の水質改善や高度処理への対応等、放流水域の環境保全に向けた改善が求められていました。

そこで2017年、クボタは同施設を運営する大阪府大阪市から「中浜下水処理場水処理施設整備事業」を受注、2021年より施設の稼働を予定いたしております。

整備にあたっては、東芝インフラシステムズ株式会社と2015年より共同開発を進めるスマートMBR下水処理システム「スクラム(SCRUM)」を初導入。孔径0.2 μ m(マイクロメートル:1mmの1,000分の1)の膜でろ過することにより、大腸菌ゼロの非常に清澄な処理水を得ることができるほか、運転状況に応じて膜の詰まりを予測して供給空気量を最適化する風量制御技術により、従来のクボタMBR(※1)下水処理システムに比べ、電力使用量を約50%削減することができます。

☆事業受注に関する詳細(プレスリリース)

<https://www.kubota.co.jp/news/2017/17-21j.html>

※1:MBR(Membrane Bio-reactor)/膜分離活性汚泥法:微生物による生物処理と膜による固液分離処理を組み合わせた水処理方法。コンパクトな施設で汚水を浄化することができるため、広大な敷地の確保が難しい都市部においてメリットがある下水処理法。

新技術を活用した超高度処理水を送水することで、道頓堀川・東横堀川といった大阪市内の河川の水質改善に貢献し、「水都・大阪」の水環境保全に貢献します。

当CMでは、このスマートMBR下水処理システム「スクラム(SCRUM)」の開発に奮闘する人々の姿と、水環境の未来へ想いを馳せる様子を表現しております。

☆株式会社クボタ「水処理システム」事業紹介

<https://www.kubota.co.jp/product/water-t/index.html>

☆参考記事:クボタと東芝が共同開発した省エネ型の最新技術を導入決定。道頓堀川の川底が見えるように?! 大阪・中浜下水処理場に最新下水処理技術「スクラム」が初導入(『KUBOTA PRESS』より)

<https://www.kubota.co.jp/kubotapress/technology/nakahama.html>

■株式会社クボタ TV-CM『For Your Wishes.』篇 出演者について

「ホアン」役:フォンチー



1990年生まれ、スターダストプロモーション所属。2005年、『SMA ティーンズオーディション2005』で準グランプリを受賞し、芸能活動を開始。2006年～2011年までアイドルグループ「アイドルリング!!!」創設メンバーとして活動し、グループを卒業後は舞台・ドラマ・MC等、多方面で活躍している。

「高瀬」役:水上 京香(みなかみ きょうか)



1995年生まれ、2014年、『トップコート 20th スターオーディション』で、1万315名の中からグランプリを受賞し芸能界入り。2018年にNHK連続テレビ小説『わろてんか』でヒロイン(葵わかな)の息子(成田凌)の妻役を演じたほか、2017～2018年に日本テレビ系『Going! Sports & News』でお天気キャスターを務めるなど様々な分野で活動。

■CM 概要

タイトル : クボタ 新 TV-CM 『For Your Wishes.』篇

出演 : フォンチー、水上 京香、門田 裕

放映開始日: 2020年12月20日(日)

放映地域 : 全国

■制作スタッフ

エグゼクティブクリエイティブディレクター: 西田 新吾

クリエイティブディレクター: 濱田 雄史

プランナー: 桃林 豊

ビジネスプロデューサー: 立脇 啓司、山崎 洋平、佐川 和也、吉田 尚礼

クリエイティブプロデューサー: 早藤 修

プロデューサー: 喜多川 達夫、岡本 拓自、五郡 由賀

プロデューサー(大阪): 池田 貴昭

プロダクションマネージャー: 井原 慶、柳沢 諒

ディレクター: 柴田 大輔

フォトグラファー: 池浦 新吾

ライティングディレクター: 太田 宏幸

アートディレクター: 末広 豪

スタイリスト: 増井 芳江

ヘアメイク: 山田 今日子

ヘアメイク/スタイリスト(沖縄): 神谷 かおり

■株式会社 クボタ

1890(明治23)年の創業以来、「人々の豊かな暮らしを支えていく。」という想いから事業を展開してきたクボタは、2020年に創業130周年を迎えました。明治には蔓延するコレラなどの伝染病から人々を守るため、近代水道の整備に必要な水道用鉄管の国産化に初めて成功。また農業機械による食料増産と省力化、環境施設による人類と環境の調和など、暮らしと社会に貢献するさまざまな製品を提供してきました。現在では「食料・水・環境分野の課題解決への貢献」を使命として、世界120以上の国や地域で事業を展開。クボタは「For Earth, For Life」のブランドステートメントのもと、優れた製品・技術・サービスを通じて食料・水・環境分野の課題解決に挑戦し、「SDGs」の実現と、地球と人のさらなる未来を支え続けてまいります。

【代表取締役社長】北尾 裕一

【売上高】 19,200億円(2019年12月期・連結)

【従業員数】 41,027名(2019年12月31日現在・連結)

【本社所在地】 大阪市浪速区敷津東一丁目 2 番 47 号

<クボタの水環境事業について>

明治初期にコレラが流行し、近代水道整備の必要性が高まったことを受け、1893年(明治26年)に水道用鉄管の開発に着手し、日本で初めて量産に成功。その後、ポンプ、バルブ、さらに下水処理まで、水に関わる様々な製品・技術、ソリューションの提供を通じて、世界トップクラスと言われる日本の水インフラの整備に貢献して参りました。近年では100年以上の使用が可能な耐震型ダクタイル鉄管の開発や、世界的な水不足を解決するための水資源の再利用技術など、社会の課題とニーズに応えたソリューションを世界70以上の国や地域で提供しています。

クボタ「水環境ソリューション」紹介ウェブサイト:<https://www.kubota.co.jp/product/water/about.html>